

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成31年2月21日(2019.2.21)

【公表番号】特表2018-505606(P2018-505606A)

【公表日】平成30年2月22日(2018.2.22)

【年通号数】公開・登録公報2018-007

【出願番号】特願2017-538384(P2017-538384)

【国際特許分類】

H 0 4 W 52/02 (2009.01)

H 0 4 W 84/12 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 52/02 1 1 1

H 0 4 W 84/12

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月11日(2019.1.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1のワイヤレスデバイスによるワイヤレス通信の方法であって、

アクティブモード、省電力モード、またはターゲットウェイクタイム(TWT)省電力モードに切り替えるべきかどうかを決定するステップであって、前記TWT省電力モードの間、前記第1のワイヤレスデバイスが、TWTサービス期間中にアウェイク状態に入り、前記TWTサービス期間の外部でドーズ状態に入る、ステップと、

前記決定に基づいてメッセージを第2のワイヤレスデバイスへ送信するステップと、
を備える方法。

【請求項2】

前記TWTサービス期間が、前記第1のワイヤレスデバイスに関連するTWTスケジュールに基づいて識別される、

請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記TWT省電力モードに切り替えるかまたは前記TWT省電力モードから離れて切り替えるように前記第1のワイヤレスデバイスに命令する表示を、前記第2のワイヤレスデバイスから受信するステップをさらに備える、

請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記決定するステップが、

送信または受信のための追加のデータがあるかどうかを決定するステップであって、前記第1のワイヤレスデバイスが、送信または受信のための追加のデータがないときに前記TWT省電力モードから前記省電力モードに切り替えるべきと決定する、ステップ、

1に設定されたサービス期間終了(EOSP)インジケータを有するサービス品質(QoS)メッセージを前記第2のワイヤレスデバイスから受信するステップであって、前記第1のワイヤレスデバイスが、前記EOSPインジケータが1に設定されるときに前記TWT省電力モードから前記省電力モードに切り替えるべきと決定する、ステップ、または

0に設定されたカスケード式インジケータを有し前記第1のワイヤレスデバイスを対象と

しないトリガメッセージを、前記第2のワイヤレスデバイスから受信するステップであって、前記第1のワイヤレスデバイスが、前記カスケード式インジケータが0に設定されるとともに前記トリガメッセージが前記第1のワイヤレスデバイスを対象としないときに前記省電力モードに切り替えるべきと決定する、ステップを備える、

請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記第2のワイヤレスデバイスのモードを決定するステップをさらに備える、
請求項1に記載の方法。

【請求項6】

トラフィック表示マップを含む第2のメッセージを前記第2のワイヤレスデバイスから受信するステップをさらに備え、前記トラフィック表示マップが、前記第1のワイヤレスデバイスが選択すべき動作モードを示し、前記第1のワイヤレスデバイスが、前記第1のワイヤレスデバイスにとってトラフィックが利用可能であることを前記トラフィック表示マップが示すときに前記TWT省電力モードに切り替えるべきと決定する、

請求項1に記載の方法。

【請求項7】

第1のワイヤレスデバイスによるワイヤレス通信の方法であって、

アクティブモード、省電力モード、またはターゲットウェイクタイム(TWT)省電力モードのうちの1つである動作モードに切り替えるという第2のワイヤレスデバイスの意向を示すメッセージを、前記第2のワイヤレスデバイスから受信するステップであって、前記TWT省電力モードの間、前記第2のワイヤレスデバイスが、TWTサービス期間中にアウェイク状態に入り、前記TWTサービス期間の外部でドーズ状態に入る、ステップと、

前記第2のワイヤレスデバイスに関連する前記動作モードを記憶するステップと、

前記動作モード切替えの確認応答を前記第2のワイヤレスデバイスへ送信するステップと、
を備える、方法。

【請求項8】

動作モードを切り替えるように前記第2のワイヤレスデバイスに命令するために、1に設定されたサービス期間終了(EOSP)インジケータを含むサービス品質(QoS)メッセージを送信するステップをさらに備える、

請求項7に記載の方法。

【請求項9】

前記第1のワイヤレスデバイスが前記TWTサービス期間の外部でドーズ状態にあるかどうかを示す応答側モードインジケータを送信するステップをさらに備える、

請求項7に記載の方法。

【請求項10】

前記第1のワイヤレスデバイスがドーズ状態の中に入ることを示すために、非割当てリソースを有するトリガメッセージを送信するステップをさらに備える、

請求項7に記載の方法。

【請求項11】

前記第2のワイヤレスデバイスが選択すべき前記動作モードを示すトラフィック表示マップを送信するステップをさらに備える、

請求項7に記載の方法。

【請求項12】

前記TWT省電力モードに切り替えるかまたは前記TWT省電力モードから離れて切り替えるように前記第2のワイヤレスデバイスに命令する表示を、前記第2のワイヤレスデバイスへ送信するステップをさらに備える、

請求項7に記載の方法。

【請求項13】

ワイヤレス通信のための装置であって、前記装置が第1のワイヤレスデバイスであり、

アクティブモード、省電力モード、またはターゲットウェイクタイム(TWT)省電力モードに切り替えるべきかどうかを決定するための手段であって、前記TWT省電力モードの間、前記第1のワイヤレスデバイスが、TWTサービス期間中にアウェイク状態に入り、前記TWTサービス期間の外部でドーズ状態に入る、手段と、

前記決定に基づいてメッセージを第2のワイヤレスデバイスへ送信するための手段と、
を備える、装置。

【請求項 14】

ワイヤレス通信のための装置であって、前記装置が第1のワイヤレスデバイスであり、アクティブモード、省電力モード、またはターゲットウェイクタイム(TWT)省電力モードのうちの1つである動作モードに切り替えるという第2のワイヤレスデバイスの意向を示すメッセージを、前記第2のワイヤレスデバイスから受信するための手段であって、前記TWT省電力モードの間、前記第2のワイヤレスデバイスが、TWTサービス期間中にアウェイク状態に入り、前記TWTサービス期間の外部でドーズ状態に入る、手段と、

前記第2のワイヤレスデバイスに関連する前記動作モードを記憶するための手段と、
前記動作モード切替えの確認応答を前記第2のワイヤレスデバイスへ送信するための手段と、
を備える、装置。

【請求項 15】

コンピュータ実行可能コードを記憶する、第1のワイヤレスデバイスのコンピュータ可読記憶媒体であって、実行されたとき、前記コンピュータ実行可能コードがコンピュータに請求項1から12のいずれか一項に記載の方法を実行させる、
コンピュータ可読記憶媒体。